

令和 8 年 度 着 手

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

小 山 南 部 地 区 農 業 用 道 路 事 業

〔 県 営 経 営 体 育 成 基 盤 整 備 事 業 (土 地 総) 〕

福 井 県

目 次

第 1 章 目 的	1
第 2 章 地 域 及 び 地 積	1
第 1 節 地 域	1
第 2 節 地 積	1
第 3 章 現 況	1
第 1 節 気象及び海象	1
1 . 一般気象	1
2 . 特殊気象	2
3 . 海 象	2
第 2 節 土地状況	2
1 . 地形、土壌及び侵食の程度	2
2 . 土地分類	3
3 . 土地利用の状況	3
4 . 土地所有の状況	3
第 3 節 水利状況	4
1 . 用水状況	4
2 . 排水状況	7
3 . 河川状況	9
第 4 節 道路概況	10
1 . 道路概況	10
2 . 主要道路一覧表	11
第 5 節 地域農業の概況	11
1 . 産業別就業人口	11
2 . 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	11
3 . 動力農機具及び主要家畜頭数	11
4 . 主要作物作付け状況	12
5 . 農業の動向	12
第 6 節 地域環境の概況	12
第 4 章 一般計画	13
第 1 節 事業計画の要旨	13
1 . 要 旨	13
2 . 事業別面積	13

第2節	営農計画及び土地利用計画	13
1.	営農計画の概要	13
2.	土地利用区分	13
3.	作付方式	14
4.	生産計画	14
5.	労働改善計画	15
6.	級地別土地利用区分	15
7.	土地配分計画	15
第3節	用水計画	16
1.	計画基準年	16
2.	計画かんがい方式	16
3.	計画用水系統	16
4.	計画用水量	17
5.	水源計画	18
第4節	排水計画	19
1.	計画基準雨量	19
2.	計画排水方式	19
3.	計画排水系統	19
4.	計画排水量	20
5.	排水対策	20
6.	たん水検討	20
第5節	道路計画	21
1.	道路及び索道	21
2.	路線配置図	21
第6節	農用地造成計画	22
1.	農用地造成計画	22
2.	土壌改良	22
第7節	洪水調節計画	22
1.	計画基準雨量	22
2.	計画洪水量及び調節量	22
3.	貯水池	22
4.	洪水調節検討	23
5.	管理計画	23
第8節	干拓計画	23
第9節	農用地整備計画	24
1.	区画整理	24
2.	暗渠排水	25
3.	客土	25
4.	農地保全	25

第10節	老朽ため池改修計画	26
1.	洪水吐改修計画	26
2.	堤体補強計画	26
3.	取水施設改修計画	26
第5章	主要工事計画	27
第1節	用水施設	27
1.	貯水池	27
2.	頭首工	27
3.	揚水機	27
4.	用水路	27
5.	その他かんがい施設	27
第2節	排水施設	28
1.	排水水門	28
2.	排水機	28
3.	排水路	28
4.	その他排水施設	28
第3節	道路及び索道	29
1.	道路	29
2.	索道	29
第4節	農用地造成	29
1.	農用地造成	29
2.	土壌改良	30
第5節	洪水調節施設	31
1.	貯水池	31
2.	頭首工及び導水路	31
第6節	干拓施設	31
1.	堤防	31
2.	潮止め	31
3.	付属施設	31
4.	埋立	32
第7節	農用地整備施設	32
1.	区画整理	32
2.	暗渠排水	32
3.	客土	33
4.	除礫	33
5.	農地保全	33

第8節 老朽ため池改修施設	34
1．貯水池	34
2．堤体補強施設	34
第6章 附帯工事計画	34
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	34
第8章 環境との調和への配慮	34
第9章 換地計画の概要	35
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	35
第2節 換地区の設定	35
1．換地区の名称、所在、面積	35
2．換地区を設定する理由	35
第3節 換地計画樹立の基本方針	35
1．従前の土地の地積の基準	35
2．用途別予定地積	36
3．農用地集団化の方針	37
4．非農用地の換地方法	37
第4節 土地の評価及び清算の方法	37
1．評価の方法	37
2．清算の方法	37
第5節 換地計画樹立の年度計画	37
第6節 換地処分の時期に関する特則	38
第10章 事業費の総額及び内訳	39
第11章 効 用	40
第12章 関連する事業	40
第13章 現況・計画図面	40

第 1 章 目 的

本地区は昭和61年～平成4年にかけて、県営圃場整備事業 大野南部地区にて整備されたほ場であり、90a区画のほ場整備、農道、暗渠排水、用水路を整備し、一級河川赤根川・木ノ本排水より取水と反復ポンプを利用して配水を行っている。

これまでに地区内では、担い手への農地利用集積が進み経営規模の拡大が進んでいるが、農道の車両幅員が1.7mの農道区間があり、農業機械の進入や大型化が困難となっている。

このため、本事業により農道の拡幅を行い、農業機械の大型化を可能とし、本地域の豊かで競争力のある農業の実現に資するものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農 業 用 道 路	大 野 市 : 上 舌

第 2 節 地 積

令和7年10月現在 (第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農業用 道路	大 野 市	5.3	—	—	—	—	5.3	
計		5.3	—	—	—	—	5.3	

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	大野観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H23年～R2年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		22.7	7.1	13.6	
降水量	平均 (mm)	204	192	197	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平均 (日)	11	16	14	
	基準年 (日)	—	—	—	
根 雪 期 間		12 月 ～ 3 月		— 日間	
無 霜 期 間		4 月 ～ 11 月		— 日間	
最 多 風 向	WNW (西北西)	最大風速		14.2 m/s	

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
大野観測所	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間																
H3年～R2年																
最大日雨量 (mm)	164	H25. 7. 29	1/19	160	H29. 10. 22	1/16	158	H30. 7. 5	1/15	156	H17. 7. 4	1/14	154	H16. 10. 20	1/13	
最大時間雨量 (mm)	65	H20. 8. 28	1/252	45	H24. 8. 11	1/11	42	H28. 8. 20	1/6	41	H16. 5. 17	1/6	41	H23. 8. 25	1/6	
最大4時間雨量 (mm)					記 録 な し											
最大連続雨量 (mm)	557	H18. 7. 12 ～H6. 7. 29	1/1333	272	H7. 7. 3 ～H7. 7. 12	1/10	267	H10. 7. 28 ～H10. 8. 7	1/9	237	H29. 10. 15 ～H29. 10. 25	1/7	237	H5. 7. 9 ～H5. 7. 15	1/6	
最大連続千日数 (mm)	30	H6. 7. 19 ～H6. 8. 17	1/264	23	R2. 8. 14 ～R2. 9. 5	1/14	22	H22. 8. 15 ～H22. 9. 5	1/10	21	H8. 7. 24 ～H8. 8. 13	1/7	21	H14. 8. 16 ～H14. 9. 5	1/7	

(第3表-3)

観測所名 観測期間		年～年	既往最高 潮位	さく望平均 満潮位	上下弦平均 満潮位	平均潮位	上下弦平均 干潮位	さく望平均 干潮位	既往最低 潮位	備考
実測値						該当	事項	なし		

第2節 土地狀況

1. 地形、土壤及び侵食の程度

(第4表-1-1)

[illegible]

(第4表-1-2)

[illegible]

(第4表-1-3)

[illegible]

2. 土地分類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
		一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
			※ (ha)	3° ～8° (ha)	8° ～12° (ha)	12° ～15° (ha)	※ (ha)	15° ～20° (ha)	20° ～25° (ha)	25° ～30° (ha)	※ (ha)			30° 以上 (ha)
													※は傾斜 以外の要因による もの	

級地別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
			該 当	事 項	な し	

3. 土地利用の状況

令和7年10月現在

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放 牧 地	原 野	そ の 他	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ 樹 の 園 他 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)					
農業用 道路	大野市	5.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3	
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
合 計		5.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3	

4. 土地所有の状況

令和7年10月現在

(第4表-4)

事業名	所 有 別 区 分	民 有 地	国 有 地	県 有 地	市 町 村	土地改良区	計	備 考
農業用 道路	面 積 (ha)	5.3	—	—	—	—	5.3	
	受 益 者 数 (人)	6	—	—	—	—	6	
	筆 数 (筆)	7	—	—	—	—	7	
	権 利 関 係	—	—	—	—	—	—	
	備 考 (関係戸数)	—	—	—	—	—	—	
	面 積 (ha)							
	受 益 者 数 (人)							
	筆 数 (筆)							
	権 利 関 係							
	備 考 (関係戸数)							
合 計	面 積 (ha)	5.3	—	—	—	—	5.3	
	受 益 者 数 (人)	6	—	—	—	—	6	
	筆 数 (筆)	7	—	—	—	—	7	
	権 利 関 係	—	—	—	—	—	—	
	備 考 (関係戸数)	—	—	—	—	—	—	

第 3 節 水利状況

1. 用水状況

該 当 事 項 な し

(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

第1表-1

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		慣行水利権		その他		延べ 取水量	備考
		500ha以上		50～100ha		50ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /S	
	貯水池														
	井 堰														
	自 然 取入口							該 当 事 項 な し							
	揚水機														
	その他														
	計														
合 計															

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は更新年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
	貯水池							
	井 堰							
	自 然 取入口			該 当 事 項 な し				
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合 計								

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m ³)	不足水量				平均 減産量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量(t)	
				平均(m ³ /s)	基準年(m ³ /s)	平均(千m ³)	基準年(千m ³)			
				該 当 事 項 な し						
	計									
合 計										

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積(ha)	水温($^{\circ}\text{C}$)		水質	被害量(t)	備考
			最高	最低			
			該当事項なし				

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
					該当事項なし						
合計											

2. 排水状況

(1) 排水系統

該 当 事 項 な し

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項 目 施 設 名		排 水 面 積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水 能 力 (m³/s)	備 考
			500ha以上		100～500ha		100ha未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
	自 然	排 水 路											
		水 門											
	機 械	排 水 機			該 当 事 項 な し								
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合 計													

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項 目		施設名又は 箇 所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施 設 名								
	自 然	排 水 路							
		水 門							
	機 械	排 水 機			該 当 事 項 な し				
		水 門 及 び 排 水 機							
		排水路及び 排 水 機							
	計								
	合 計								

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項 目 系統名	排水面積 (ha)	降 水 量 (mm)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況(ha)						平 均 減 産 量		備考
					湛 水 深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛 水 量 (千m³)	田	畑	その他	作 物 名	減 産 量 (t)				
	乾	湿	乾	湿	乾	湿											
			平均														
			基準年														
			平均	該 当 事 項 な し													
			基準年														
	計																
合 計																	

3. 河川状況

(1) 河川状況

(第5表-7)

項 目 河 川 名	流 路 状 況	勾 配	断 面	計画洪水量	既往最大洪水量 (m^3/s)	備 考
		該	当 事 項	な し		

(2) 洪水に関する被害状況

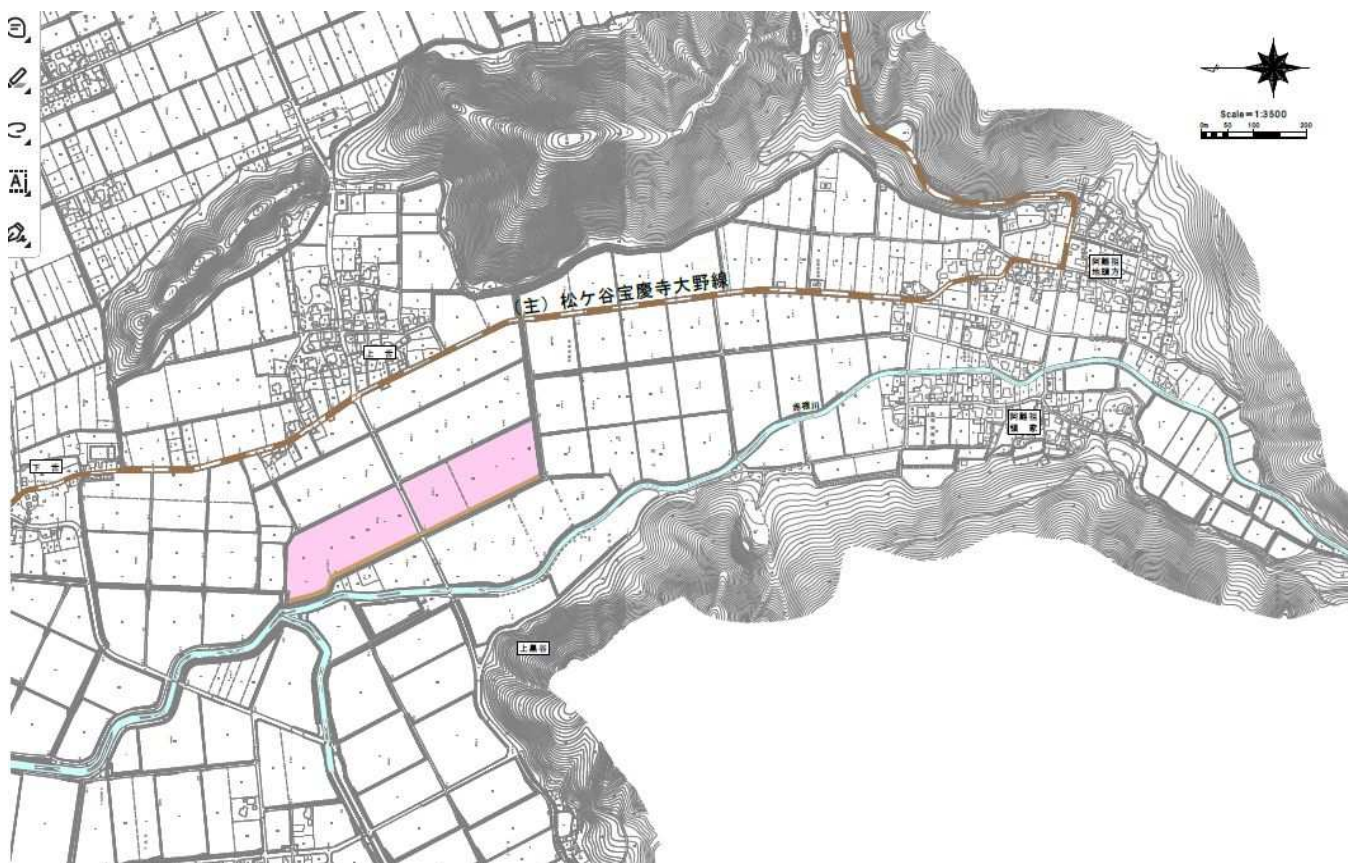
(第5表-8)

項 目 区 分	農 用 地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作 物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備 考
過去の最大被害額					
平 均 被 害 額		該	当 事 項	な し	

第 4 節 道路概況

1. 道路概況

本地区は、地区の幹線道路として主要地方道松ヶ谷宝慶寺大野線が南北に地区内を通っている。支線農道の幅員が狭い区間があり、農産物、資材等の輸送の便が悪く、また、大型農業機械の通行に支障を来たしている状況である。



2. 主 要 道 路 一 覧 表

(第 6 表)

No	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
		該	当	事	項	な	し	

第5節 地 域 農 業 の 概 況

1. 産 業 別 就 業 人 口

令和2年国勢調査

(第 7 表－1)

項 目	総 数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気 ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不動産業	サービ ス業	公務	その他	備考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
大野市	17,271	1,230	72	5	6	2,317	3,379	151	637	2,243	322	107	6,204	598	-	国勢調査
計	17,271	1,230	72	5	6	2,317	3,379	151	637	2,243	322	107	6,204	598	-	
比率 (%)	100.0	7.2	0.4	-	-	13.4	19.6	0.9	3.7	13.0	1.9	0.6	35.9	3.5	-	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

農林業センサス 令和2年度

(第 7 表－2)

項 目 市町村名	農 家 総 戸 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											一戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の 分散状況		専兼業別農家数 (戸)			備 考		
		例外規定 の適用を 受けるも の	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸 当 団 地 数	団地当 面 積 (ha)	専 業	兼 業			
																						第一種		第二種	
大野市	1,454	35	132	312	284	212	178	89	82	58	72	—	3.43	1.43	—	4.86	—	4.86	—	—	134	189	993		
計	1,454	—	132	312	284	212	178	89	82	58	72	—	3.43	—	—	4.86	—	4.86	—	—	134	189	993		
比率 (%)	100.0	—	9.1	21.5	19.5	14.6	12.2	6.1	5.6	4.0	5.0	—	71.0	—	—	100.0	—	100.0	—	—	10.2	14.4	75.5		

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

農林業センサス 令和2年度

(第 7 表－3)

項 目	動 力 農 機 具								主 要 家 畜							
	トラクター		田 植 機		コンバイン		動力防除機		乳用牛		肉用牛		採卵鶏		豚	
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (百羽)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)
大野市	-	-	-	-	-	-	-	-	210	5	6	3	X	1	-	-
計	-	-	-	-	-	-	-	-	210	5	6	3	X	1	-	-
100戸当数量 (台、頭)	-		-		-		-		4,200		200		-		-	
利用戸数 割合(%)																

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの -:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

４．主要作物作付け状況

農林水産統計年報 R7現在

(第7表－4)

市 町 村 名			大野市						計	平 均	作付率	備 考
総耕地面積 (ha)			4, 180						4, 180	4, 180		
総本地面積 (ha)			3, 870						3, 870	3, 870		
区 分			作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量		
作物名			(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(%)	
田	表 作	水 稲	2, 540	540					2, 540	540	65. 6	
	裏 作											
	小 計		2, 540					2, 540				
畑	春 夏 作	大 麦	838	236					838	236	21. 7	
	秋 冬 作	そ ば	775	56					775	56	20. 0	
		大 豆	122	98					122	98	3. 2	
	小 計		1, 735					1, 735				
樹園地												
計			4, 275					4, 275				
市 町 村 別 延べ作付率 (%)			110. 5					110. 5				

５．農業の動向

農林水産統計年報 R7現在

(第7表－5)

区 分	項 目	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
			B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農 機 具 名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総 農 家 数	83	62	耕 地	99	99	水 稲	93	88	乳 牛	93	72	田 植 機	77	—	大野市 農業振興指定 指定 S46. 3.9 認可 S48. 3.5	A：令和2年 B：平成27年 C：平成22年	
	専 業 農 家	171	—	田	99	99	麦 類	133	171	肉 用 牛	X	22	動 力 耕 転 機	—	—			
	第 一 種 兼 業 農 家 巢	49	—	畑	100	99	豆 類	113	151	豚	—	—	トラクター	84	—			
	第 二 種 兼 業 農 家 巢	80	75	樹 園 地	—	—				採 卵 鶏	34	X	バインダ	—	—			
	農 業 従 事 者 数	72	—	草 地	—	—							コンバイン	78	—			
変化の理由	担い手農家への農業経営のシフト			農地転用に伴う改廃			農地の汎用化に伴う転作面積の拡大			農業離れ			農業離れに伴う農機具所有台数の減					

※表内の記号の意味は次のとおりとする (0:単位に満たないもの —:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

第6節 地域環境の概況

本地区には、イチョウウキゴケ等の稀少な動植物が確認されている。また、一級河川赤根川の流域に広がる農地であり、豊かな自然環境を形成している。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本事業により、農業用道路を整備し、大型農業機械の効率的利用を可能とすることで安定した農業経営を確立させる。

2. 事業別面積

(第 8 表)

事業名	農 業 用 用 排 水 施 設												計 (ha)	備考
土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用道路	5.3	—	—	—	—	5.3	—	—	—	—	—	—	5.3	
計	5.3	—	—	—	—	5.3	—	—	—	—	—	—	5.3	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業を契機に、農地利用集積を促進していくことで、効率的な営農を行うとともに、基盤整備を契機に高収益作物の収量、品質アップを図ることで、安定した農業経営を確立する。

2. 土地利用区分

(第 9 表－1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	備考
農業用道路	現 況	5.3	—	—	—	—	—	5.3	—	—	—	5.3	
	計 画	5.3	—	—	—	—	—	5.3	—	—	—	5.3	
	現 況												
	計 画												
計	現 況	5.3	—	—	—	—	—	5.3	—	—	—	5.3	
	計 画	5.3	—	—	—	—	—	5.3	—	—	—	5.3	

3. 作付方式

(第 9 表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年目												2 年目												3 年目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
農業用道路	現況	水田	輪換田				(水稲)												(水稲)																					
											(大麦)																													
	計画	水田	輪換田				(水稲)												(水稲)																					
												(大麦)																												
			樹園地																																					

4. 生産計画

(第 9 表-3)

事業名	土地利用区分	項目	作物名	作 付 面 積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収穫量(kg/10a)			生 産 量 (t)			同左生産量増減 の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 収 量 増 加	
農業用道路	水田	表作	水 稲	5.0	5.0	－	96.2	96.2	525	525	－	26.3	26.3	－	－	－	
	畑利用	表作	大 麦	0.2	0.2	－	3.8	3.8	130	130	－	0.3	0.3	－	－	－	
		裏作															
合 計				5.2	5.2	－	100.0	100.0									

※表内の作付面積は本地率を考慮した値である。

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
	土地利用区分			区分	現況	計画	増減	
農業 用 道 路	田	水 稲	5.0	人 力	17.6	16.1	△ 1.5	
				機 械	5.3	3.6	△ 1.7	
	畑利用	大 麦	0.2	人 力	6.1	5.2	△ 0.9	
				機 械	2.7	2.4	△ 0.3	
合 計			5.2					

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

土地利用区分	区 分 級地名	農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)				該 当 事 項 な し							
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(桑 園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反 入 植			該	当	事	項	な	し		

第3節 用水計画

1. 計画基準年

該 当 事 項 な し

2. 計画かんがい方式

該 当 事 項 な し

3. 計画用水系統

該 当 事 項 な し

4. 計画用水量
(1) かんがい用水

4. 計画用水量
(1) かんがい用水

[illegible]

(第10表-1-1)

[illegible]

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 (m ³ /日)	最大給水量 (m ³ /日)			
				計					
		該 当 事 項 な し							

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項 目 区 分	消 費 水 量	有効 雨量	純 用 水 量	粗 用 水 量	現況利用可能水量			不 足 水 量		水 源 依 存 量		水源 工種	備考
					水 源 名	取水地点 利用 可能量	圃場利用可 能量	純不足 水量	全不足 水量	水 源 名	水 量		
	a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-a) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率 α
					該 当	事 項	な し						
	計												

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (k m ²)		かんがい面積 (h a)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考
	直接	間接	事業 名							
			用排水		計					
				該 当	事 項	な し				

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河 川 名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (h a)			取 水 量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最大	平均		
			用 排 水		計				
			該 当 事 項			な し			

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項 目 名 称		水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m³/s)		揚 水 機				備 考
			事 業 名					実揚程 (m)	揚水量 (m³/s)	台 数 (台)	全揚水量 (m³/s)	
			用排水		計	最 大	平 均					
					該 当	事 項	な し					

(エ) 用水路

(第10表-6)

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)			最 大 通水量 (m³/s)	延長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
	用排水		計				
				該	当	事 項 な し	

(オ) その他の水源施設

該 当 事 項 な し

(3) 水質水温

(第10表-7)

時 間 別	か ん が い 面 積	水 温		水 質	被 害 量	備 考
		最 高	最 低			
		該 当	事 項	な し		

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

2. 計画排水方式

該 当 事 項 な し

3. 計画排水系統模式図

該 当 事 項 な し

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第12表-1)

項 目 路線名	幅 (有効) × (m)	延 長 (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
支線道路	3.5	(3.0) ×	0.5	アスファルト舗装	市道に接続
計					

(2) 索 道

(第12表-2)

項 目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考
	該 当	事 項	な し	

2. 路線配置図

別添計画平面図参照

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該 当 事 項 な し

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称			位置	長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備 考
			堤	固定部	可動部	計			
型式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)							
		該	当	事	項	な	し		

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			
		該	当	事	項	な	し

第6節 干拓施設

1. 堤 防

(第22表-1)

項 目 名 称	型 式	延長 (m)	構 造				原地盤標高 (m)		備 考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	
			該	当	事	項	な	し	

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考
		該	当	事	項	な	し

3. 付属施設

該 当 事 項 な し

4. 埋 立

(第22表-3)

項目 区分	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m ³)	施 工 方 法	備 考
		該 当	事 項 な し		
計					

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量(m ³)	面 積(ha)	土 量(m ³)	
		該 当	事 項 な し			
計						

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し	
計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し	
計				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集 水 渠 出 口 以下の排水施設			備 考
	事 業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (mm)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
			計														
計																	

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

区分	項目 対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

3. 客 土

(第23表-5)

区分	項目	面 積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
		事	業	計					
				該 当 事 項	な し				
計									

4. 除 礫

(第23表-6)

区分	項目 対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

5. 農地保全

(1) 防風林

(第23表-7)

区分	項目 幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
		該 当 事 項	な し			
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

区分	項目 延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考
		該 当 事 項	な し	
計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

名称	項目 構 造	数 量	備 考
	該 当 事 項	な し	
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考
				該 当	事 項	な し		
洪水 吐	型 式	排 水 量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 設 備	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	備 考

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該 当 事 項 な し

(2) 漏水防止工

該 当 事 項 な し

第6章 附帯工事計画

該 当 事 項 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

換 地 区	着 手	完 了 予 定	備 考
全区	令和 8 年度	令和 15 年度	

第8章 環境との調和への配慮

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

更に、保全対象生物であるイチョウウキゴケ等の配慮対策について検討する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該 当 事 項 な し

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
	該 当 事 項 な し	

2. 換地区を設定する理由

該 当 事 項 な し

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準
	該 当 事 項 な し

[illegible][illegible]

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区分	地帯別、グループ別団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位置の選択方法	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取扱い
		該 当 事 項 な し		

4. 非農用地の換地方法

(第25表-5)

換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
		該 当 事 項 な し				

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評 価 の 方 法

該 当 事 項 な し

2. 清 算 の 方 法

該 当 事 項 な し

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区 分 換地区名	一 時 利 用 地 の 指 定 予 定 年 度	換 地 計 画 の 決 定 予 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考
		該 当 事 項 な し		

第6節 換地処分の特則

該 当 事 項 な し

区 分 \ 事業名		農業用排水施設 (単位：千円)	備 考
	農 道 工	6,000	令和 7 年度単価
	小 計	6,000	
	測 量 試 験 費	1,000	
	用 地 補 償 費	3,000	
	小 計	4,000	
	計	10,000	
	総 事 業 費	10,000	
関連事業（参考）			

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	項 目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
農 業 用 道 路	農 村 の 食 料 の 安 定 供 給 の 確 保 に 関 する 効 果		909	△ 33	
		走行経費削減効果	942	—	
		維持管理費削減効果	△ 33	△ 33	
	農 村 の 持 続 的 発 展 に 関 する 効 果		—	—	
			—	—	
	農 村 の 振 興 に 関 する 効 果		—	—	
			—	—	
	そ の 他 効 果		—	—	
			—	—	
	計		909	△ 33	令和 7 年度単価

(参考)

総 費 用 (現在価値化) : 11,109 千円
 総便益額 (現在価値化) : 18,254 千円
 総 費 用 総 便 益 比 : 1.64 ≥ 1.00
 総 所 得 償 還 率 : 2.6 % ≤ 20 %
 増 加 所 得 償 還 率 : — % ≤ 40 %

第12章 関連する事業

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (h a)	備 考
		該 当 事 項 な し		

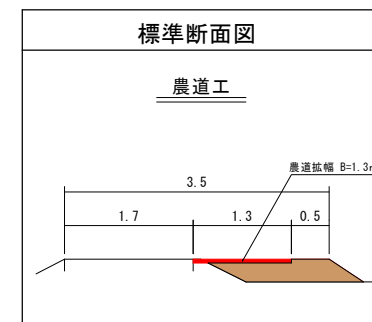
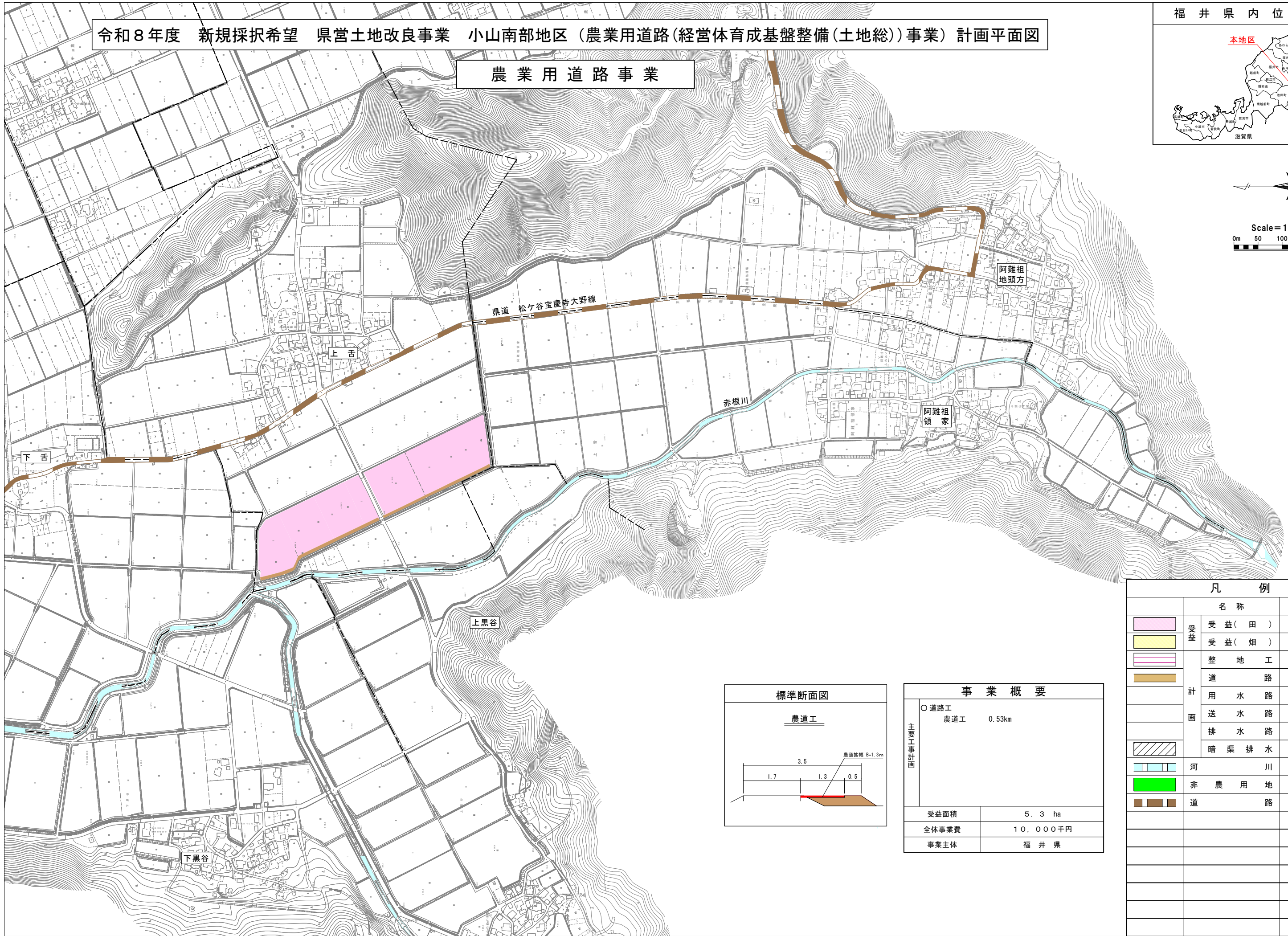
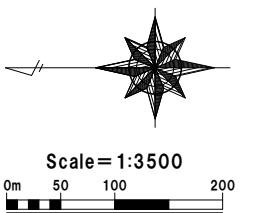
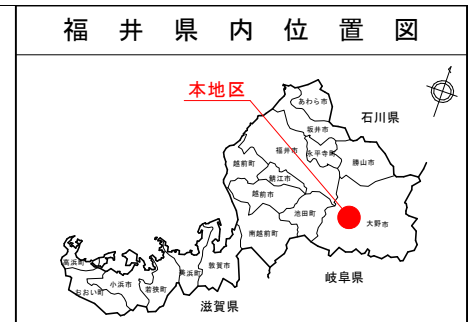
第13章 現 況・計 画 図 面

別途添付

1. 計 画 平 面 図

令和8年度 新規採択希望 県営土地改良事業 小山南部地区（農業用道路（経営体育成基盤整備（土地総））事業）計画平面図

農業用道路事業



事業概要

事業概要	
主要工事計画	○道路工 農道工 0.53km
受益面積	5.3 ha
全体事業費	10,000千円
事業主体	福井県

凡 例

[illegible]